

昭和59年度作況一覧

秋播小麦	大豆	小豆	菜豆	ばれいしょ	てんさい
良	良	平年並	平年並	やや不良	良

I. 気象概況

4月から10月までの概況は次のとおりである。

4月：

融雪は低温のため進まず、平年より8日遅れて4月17日に根雪終わりとなり積雪期間は143日で平年より17日長かった。耕鋤始めは5月1日で平年より5日遅れた。

5月：

気温は上・中旬とも低かったが、下旬はやや高かった。降水量は少なく、日照時間は平年並であった。晩霜は4月30日で平年より4日早かった。

6月：

気温は中旬が平均気温で平年より1.8℃高く、上・下旬は平年並であった。降水量は少なく、日照時間は平年並であった。

7月：

気温は上・下旬が平年並であったが、下旬は平均気温で平年より1.4℃高かった。降水量は平年並であったが日照時間は平年より38.7時間少なかった。

8月：

気温は上旬が平均気温で平年より3.1℃高かった。中旬は昼夜の気温較差が大きく最高気温が平年より2.2℃高く、最低気温は平年より3.3℃低かった。降水量は上・中旬で9mmしかなく、土壌は干ばつ傾向であった。下旬(22、23日)に台風15号くずれの温帯低気圧の影響で降水量は15mmあったが、平年より著しく少なかった。日照時間は平年並であった。

9月：

気温は上・中旬が気温較差大きく、特に、最低気温が平年より2.2℃低かった。下旬は平均気温で平年より1.1℃低かった。降水量は平年よりやや少なかった。日照時間は上・中旬が平年並であったが、下旬は平年より19.5時間少なかった。

10月：

気温は平年より低かった。降水量は平年並であったが、日照時間は79時間で平年より32.2時間少なかった。初霜は10月5日、降雪始めは10月26日で平年よりそれぞれ12日、6日早かった。無霜期間は157日で7日短かった。

以上、積算平均気温は2967.0日度で平年(3103.3日度)より136.3日度低かった。降水量は364.0mmで平年(674.3mm)より310.3mm少なく、平年の54%であった。日照時間は1099.8時間で平年(1178.3時間)より78.5時間少なかった。以上、全般を通じ、気温は4～5月が低く、6～8月が高く、9～10月が低かった。降水量は全期間に渡って少なく経過し、特に、5月中・下旬及び8月上・中旬が少なかった。日照時間は平年並であった。

季節表

年次	根雪始 (58年.月.日)	根雪終 (月.日)	積雪期間 (日)	降雪終 (月.日)	耕鋤始 (月.日)	晩霜 (月.日)	初霜 (月.日)	無霜期間 (日)	降雪始 (月.日)
本年	11.27	4.17	143	4.15	5.1	4.30	10.5	157	10.26
平年	12.5	4.9	126	4.14	4.26	5.4	10.17	164	11.1
比較	△8	8	17	1	6	△4	△12	△7	△6

注) 平年値は過去10年間の平均。△は減を示す。

II. 昭和59年度の作況

1. 秋播小麦 昭和59年度の作況:良

事由:秋季は低温、寡照な不良気象に経過したため生育は播種期の遅れも加わり、劣って推移した。降雪が早く、融雪期は平年に比べて8日遅れた。雪腐病は紅色雪腐病がやや多く発生したが枯死株はほとんどなく、被害は少なめであった。春季は融雪前より引き続いた異常低温及び5月中、下旬の干ばつにより草丈の伸長は抑制され、出穂は平年に比べて5日程度早まった。夏季は、開花当時、6月中旬の高温、多照な気象経過と登熟期間の適度な降雨によって稔実がよく、成熟期も平年より6日程度早かった。

稈長及び穂長は短かったが穂数は「ホロシリコムギ」で平年よりわずかに多く、両品種とも千粒重が重く多収となった。10a当たり子実重の平年比は「ホロシリコムギ」は118%、「タクネコムギ」が112%であった。

以上により、昭和59年度の作況は良である。

品種名 項目/年次		ホロシリコムギ			タクネコムギ		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期(昭58.月.日)		9.19	9.12	7	9.19	9.12	7
出穂期(昭59.月.日)		6.11	6.15	△4	6.4	6.1	△6
成熟期(昭59.月.日)		7.21	7.27	△6	7.15	7.23	△8
草丈 (cm)	昭58.10月20日	12.3	20.5	△8.3	13	25.4	△12.4
	5月20日	34.6	41.5	△6.9	32.1	42.9	△10.8
	6月20日	81	97.4	△16.4	78.5	94.8	△16.3
茎数 (本/㎡)	5月20日	1445	957	488	1189	820	369
	6月20日	575	526	49	581	565	16
成熟期に おける	稈長(cm)	81	97	△16	79	91	△12
	穂長(cm)	8.7	9.2	△0.5	8.2	8.9	△0.7
	穂数(本/㎡)	593	583	10	581	599	△18
子実重(kg/10a)		596	505	91	481	431	50
千粒重(g)		45.9	40.9	5	44.5	35.3	9.2
子実重平年対比(%)		118	100	18	112	100	12

注) 平年値は前4か年平均。

2. 大豆 昭和59年度の作況:良

事由:播種期は5月16日で平年より3日早かった。播種後極度の干ばつにより種子は吸水できなかった。6月8日～10日に18.5mmの降雨があり、平年より8日遅れて出芽期に達した。出芽勢、出芽力は平年に比べて勝った。出芽後は適度の降水量にめぐまれて初期生育は順調に経過した。7月下旬は高温・やや多雨に経過し生育は順調に経過した。8月に入って寡雨、高温により干ばつ気味に経過したが生育は極めて良好であった。開花期はいずれの品種も平年に比べて1～3日早まった。登熟期も良好な気象により順調に経過した。成熟期は「北見白」が4日、「ユウヅル」が5日、「ユウヒメ」が4日早まった。主茎長は平年に比べて「北見白」で30.1cm、「ユウヅル」で16.9cm、「ユウヒメ」で27.1cmと極めて長くなった。主茎節数も平年に比べて多かったが、分枝数は「北見白」「ユウヅル」でやや劣った。子実収量は「北見白」では百粒重が平年より減少したが着莢数が増して14%増収した「ユウヒメ」についても百粒重は平年より減少したが莢数は平年並であり、一莢内粒数が平年より多いことにより13%増収した。「ユウヅル」は着莢数が減ったものの百粒重は増大したことにより平年並の収量であった。品質は3品種とも虫喰粒、しわ粒は見られないが、裂皮はやや見られた。

以上により、昭和59年度の作況は良である。

品種名 項目/年次		北見白			ユウヅル			ユウヒメ		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期(月.日)		5.16	5.19	△3	5.16	5.19	△3	5.16	5.19	△3
出芽期(月.日)		6.16	6.8	8	6.16	6.8	8	6.16	6.8	8
開花期(月.日)		7.24	7.25	△1	7.3	8.2	△3	7.26	7.28	△2
成熟期(月.日)		10.1	10.5	△4	10.13	10.18	△5	10.3	10.7	△4
主茎長 (cm)	6月20日	5.5	8.3	△2.8	3.6	8.2	△4.6	5.1	9.0	△3.9
	7月20日	36.1	25.0	11.1	28.3	23.0	5.3	34.9	25.2	9.7
	8月20日	79.8	50.2	29.6	82.0	62.0	20.0	78.1	52.8	25.3
	9月20日	74.9	50.6	24.3	84.3	67.1	17.2	80.0	51.4	28.6
	成熟期	79.9	49.8	30.1	82.3	65.4	16.9	79.5	52.4	27.1
主茎葉数 (葉)	6月20日	0.1	0.7	△0.6	0.1	0.6	△0.5	0.1	0.7	△0.6
	7月20日	6.7	6.3	0.4	5.8	6.0	△0.2	6.2	5.8	0.4
	8月20日	14.6	11.9	2.7	16.3	12.9	3.4	14.9	11.2	3.7
	9月20日	14.1	13.3	0.8	15.9	14.9	1.0	14.7	12.2	2.5
	成熟期	14.7	12.6	2.1	15.3	14.9	0.4	14.5	12.7	1.8
分枝数 (本/株)	7月20日	2.5	2.2	0.3	1.2	1.3	0.1	2.3	2.4	△0.1
	8月20日	3.8	5.4	△1.6	4.5	4.6	△0.1	7.7	5.5	2.2
	9月20日	3.7	5.3	△1.4	4.2	5.1	△0.9	7.3	5.9	1.4
	成熟期	3.9	5.6	△1.7	3.9	4.6	△0.7	6.2	5.7	0.5
着莢数 (莢/株)	9月20日	78.6	70.8	7.8	48.4	56.0	△7.6	58.4	51.9	6.5
	成熟期	83.4	71.0	12.4	46.4	54.2	△7.8	53.6	52.5	1.1
子実重(kg/10a)		345	303	42	292	288	4	322	285	37
百粒重(g)		23.9	26.8	△2.9	43.5	40.5	3	40	42.8	△2.8
虫喰率(%)		0.4	0.5	△0.1	0.5	1.3	△0.7	0	1.2	△1.2
品質(等級)		1	2	—	2	2	—	2	2	—
子実重平年対比(%)		114	100	14	101	100	1	113	100	13

注) 平年値は前7か年中、昭和53年、56年を除く5か年平均。ただし、「ユウヒメ」は前5か年平均。

3. 小豆 昭和59年度の作況:平年並

事由:播種は5月17日で平年より4日早かった。その後は干ばつに経過したため出芽期は平年より2日遅い6月17日であったが、出芽は斉一であった。出芽後も降水量は少なかったが、6月下旬から7月中旬にかけては7~10日ごとに10mm前後の降雨があり、初期生育は平年を上回り順調であった。7月下旬は高温、やや多雨で開花期は平年より6日程度早まった。8月上~中旬は引き続き高温に経過し主茎長、主茎節数は平年を大きく上回ったが干ばつ気味であったため、登熟が急に進み、成熟期は平年より9日早い9月3日であった。なお成熟期に達しても葉落ちが非常に悪く莢先熟の状態であった。成熟期における主茎長、主茎節数などは平年に比べ優ったが、着莢数は平年並であった。また一莢内粒数はやや多い傾向にあるが千粒重は平年より軽く、子実重はほぼ平年並であった。
以上により、昭和59年度の作況は平年並である。

品種名 項目/年次		宝小豆			エリモシヨウズ		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期(月.日)		5.17	5.21	△ 4	5.17		
出芽期(月.日)		6.17	6.15	2	6.17		
開花期(月.日)		7.25	7.31	△ 6	7.25		
成熟期(月.日)		9. 3	9.12	△ 9	9. 4		
主茎長 (cm)	6月20日	2.8	2.2	0.6	2.9		
	7月20日	16.3	9.3	7.0	14.9		
	8月20日	59.7	35.9	23.8	58.2		
	成熟期	62.8	38.1	24.7	56.0		
主茎節数 (節)	8月20日	14.0	11.1	2.9	13.7		
	成熟期	13.7	12.4	1.3	13.0		
分枝数 (本/株)	7月20日	1.8	0.6	1.2	1.7		
	8月20日	2.8	2.7	0.1	2.4		
	成熟期	2.8	2.5	0.3	2.5		
着莢数 (莢/株)	8月20日	40.1	28.9	11.2	40.5		
	成熟期	40.6	40.4	0.4	40.3		
子実重(kg/10a)		223	221	△ 2	232		
百粒重(g)		10.2	10.7	△0.5	11.6		
屑粒率(%)		2.2	2.7	△0.5	2		
品質(等級)		2	2	—	1		
子実重平年対比(%)		101	100	1			

注)「宝小豆」の平年値は前7か年中、昭和55年、56年を除く5か年平均。ただし、主茎節数は前2か年平均。「エリモシヨウズ」は本年より調査開始。

4. 菜豆 昭和59年度の作況: 平年並

事由: 播種は5月22日で平年より1日早かった。播種時より干ばつが続き、6月7日まで降雨がなかったため、出芽期は平年より5日遅れた。その後の生育は順調で開花期は7月19日で平年より3日早かった。開花期以降の7月下旬と8月上旬は著しい高温であった。また、8月上、中旬は降水量が少なく、干ばつ気味であった。このため成熟期は8月28日で平年より17日早かった。成熟期における主茎長、分枝数及び着莢数は平年並であったが、百粒重は60.6gで平年より11.0g軽かった。一莢内粒数は昭和58年1か年との比較であるが、本年は4.60粒、昭和58年は3.82粒で0.78粒多かった。これが千粒重の減少を補ったものと思われ子実重は平年比102%であった。
 以上により、昭和59年度の作況は平年並である。

品種名 項目/年次		改良早生大福		
		本年	平年	比較
播種期(月.日)		5.22	5.23	△1
出芽期(月.日)		6.17	6.12	5
開花期(月.日)		7.19	7.22	△3
成熟期(月.日)		8.28	9.14	△17
主茎長 (cm)	6月20日	8.7	-	-
	7月20日	251	-	-
	8月20日	303	-	-
	成熟期	305	304	1
主茎節数 (節)	7月20日	18.8	-	-
	8月20日	27.1	-	-
	成熟期	27.1	-	-
分枝数 (本/株)	7月20日	4.8	-	-
	8月20日	3.5	-	-
	成熟期	3.7	3.3	0.4
着莢数 (莢/株)	8月20日	35.2	-	-
	成熟期	42.9	45.2	△2.3
子実重(kg/10a)		305	300	5
百粒重(g)		60.6	71.6	△11.0
層粒率(%)		4.4	2.2	2.2
子実重平年対比(%)		102	100	2

注) 平年値は前4か年中、昭和56年を除く3か年平均。成熟期以外の主茎長・主茎節数・分枝数・着莢数および成熟期の主茎節数は本年より調査開始。

先頭へ 次年度同作物へ 作況一覧へ

5. ばれいしょ 昭和59年度の作況: やや不良

事由: 植付後、低温、寡雨に経過したが、5月下旬に入って気温は平年並に回復し、萌芽期は平年より2~3日早かった。その後、6月中旬は気温高く、適度な降雨があつて生育は順調に進み、開花が早かった。8月の寡雨及び8月中旬の極めて高温な気象経過により茎葉の黄変が進み、また、疫病の発生を認めなかったが夏疫病が多発して枯凋が早まった。上いも重は平年に比べて「男爵薯」は98%と大差なく、「農林1号」は95%に低下した。

以上により、昭和59年度の作況は両品種を総じてやや不良である。

品種名 項目/年次		農林1号			男爵薯		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
植付期(月.日)		5.1	5.3	△2	5.1	5.3	△2
萌芽期(月.日)		5.30	6.3	△3	6.4	6.6	△2
開花期(月.日)		6.29	7.4	△5	7.3	7.5	△2
枯凋期(月.日)		9.22	9.25	△3	8.27	9.7	△11
茎長 (cm)	6月20日	26.0	22.4	3.6	21.5	17.4	4.1
	7月20日	60.8	52.6	8.2	45.8	39.7	6.1
	8月20日	70.2	56.8	13.4	46.9	43.5	3.9
茎数 (本/株)	6月20日	6.3	4.0	2.3	4.1	3.8	0.3
	7月20日	6.2	4.1	2.1	3.8	3.6	0.2
	8月20日	6.4	4.3	2.1	4.2	3.6	0.6
上いも重(kg/10a)		3,993	4,187	△194	3,391	3,469	△78
でん粉価(%)		15.5	15.4	0.1	14.8	14.4	0.4
でん粉重(kg/10a)		579	603	△24	468	465	3
上いも重平年対比(%)		95	100	△5	98	100	△2
でん粉重平年対比(%)		96	100	△4	101	100	1

注) 平年値は前8か年中、昭和52年(再播)、56年、58年を除く5か年平均。「上いも」は20g以上の塊茎である。

6. てんさい 昭和59年度の作況:良

事由:播種は4月2日に行ったが、発芽が不斉一であったため、再度、土詰ならびに播種を4月16日実施した。本葉2枚の苗を5月8日に移植したが、5月中旬の低温のため、活着は平年より遅れた。さらに、5月下旬から6月上旬は、降水量が少なく、強風が続いたため、ほ場が乾燥し、生育は停滞ぎみであった。6月中旬に入ってから、気温が高くなり、適度な降雨があったため、生育はおう盛となり、6月20日の草丈と葉数は、ほぼ平年並になった。
 その後の気象は、全般に高温、寡雨に経過したが、試験ほ場が沖積土のため、干ばつの影響が少なく、7月20日以降、草丈が平年より高く、葉数は逆に少なく、根周は平年より多い状態で収穫期に達した。
 収穫期の根部は、平年に比べて胴部の肥大が良かった。そのため、根重は平年に比べ10%の多収を示し、根周による予想収量より多かった。また、地上部の退色は平年より早く、9月上旬に始まったため、根部への糖の蓄積が順調に進み、根中糖分は平年に比べ、百分比で1%高かった。以上、本年のてん菜は対平年比、根重が110、根中糖分が101であつ以上により、昭和59年度の作況は良である。

品種名(栽培法) 項目/年次		モノドリ(移植)		
		本年	平年	比較
播種期(月.日)		4.16	4.2	14
移植期(月.日)		5.8	5.5	3
収穫期(月.日)		10.15	10.17	△2
草丈 (cm)	5月20日	3.2	5.3	△2.1
	6月20日	22.8	21.5	1.3
	7月20日	51.0	47.6	3.4
	8月20日	58.2	52.2	6.0
	9月20日	57.7	55.9	1.8
	収穫期	54.7	50.7	4.0
葉数 (枚)	5月20日	2.4	3.4	△1.0
	6月20日	10.5	9.8	0.7
	7月20日	19.0	18.9	0.1
	8月20日	22.7	25.0	△2.3
	9月20日	26.9	29.0	△2.1
	収穫期	28.1	28.7	△0.6
根周 (cm)	7月20日	23.0	21.6	1.4
	8月20日	30.6	30.2	0.4
	9月20日	34.3	34.0	0.3
	収穫期	37.1	36.5	0.6
茎葉重(t/10a)		4.85	4.89	△0.04
根重(t/10a)		6.69	6.08	0.61
根中糖分(%)		16.92	16.7	0.22
糖量(t/10a)		1,128	993	135
根重平年対比(%)		110	100	10
根中糖分平年対比(%)		101	100	1

注) 平年値は前7か年中、昭和52年、55年を除く5か年平均。